

三田評論

2024 **12** No.1294

特集 防災とコミュニケーション



慶應義塾

物語から生まれる
香りのロマンス

HAYAMA AROMANCE *hayama-aromance.jp*

HAYAMA STORE 11:00-17:00 火曜定休
神奈川県三浦郡葉山町堀内50-2 Hayama Marina 2F

JIYUGAOKA SHOP 11:00-19:00 水曜定休
東京都目黒区自由が丘1-28-8 自由が丘デパート1F24

城を守り続けた人々のように、
誰かが守れば建物は生き続ける。

建物を守る。その歴史を保つ。
<https://www.nkanzaihd.co.jp>

 **日本管財ホールディングス**

西門から雨に濡れた石畳の急坂を登り、三田キャンパスが「丘の上」であると実感。福澤諭吉記念慶應義塾史展示館（旧図書館）の階段を上るとステンドグラスが迎えてくれた。

学生時代を思い出しながら、幻の門、「平和来」像、福澤諭吉終焉之地記念碑を巡る。雨に濡れた緑の木立の中に、なまこ壁の演説館が静かに佇んでいた。

南館屋上庭園から中等部を眺めた後は、「萬來舎」の大銀杏を望む部屋で新入会員の自己紹介を聴き、昼食をいただく。

当日の参加者は次のとおり。下部共代、高原安、竹内詳、安川美樹子、吉川攻、吉川雅子、沼田紳介、山崎清博、長谷川純子、坂本謙治、渡邊美保、松岡久幸、鈴木隆、岡部健二、片山英子、川内由美子、西村彰、山口正司、水上公晴、高山敦、多田孝子、辻龍也。

の挨拶として、来年度も誰一人欠けることなく、再会できることを誓い合い、散会となった。

慶應読書会 十月二十四日午後六時より、三田キャンパス・フアカルテイクラブにて開催。例会を行う。

講師は慶應義塾大学経済学部教授の前多康男氏。演題は「市場の効率性と人工知能」。

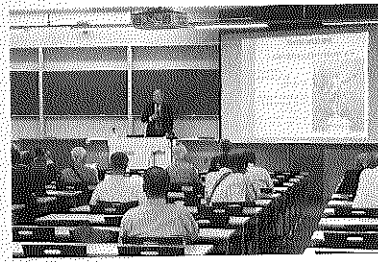
当日の参加者は次のとおり。小澤太郎、川嶋俊昭、合田正夫、近藤一樹、正野敏夫、仙石通泰、辰馬富士夫、中山喜徳、浜田文雅、前多康男、丸山徹、茂木愛一郎、山口光恒。

「三田会だより」投稿について

このコーナーは慶應義塾の同窓会である各三田会の会合を掲載するものです（リモート開催による投稿も受け付けます。その他の会合につきましては掲載いたしかねます。投稿に際しては以下に沿ってお願いします。

内山正熊研究会OB・OG会 十月十二日午後二時より、三田キャンパス第一校舎二二一番教室にて開催。

旧制高校と同様、新人補充のない会にもかかわらず、八〇名余りのOB・OGが三田に参集。今回の幹事担当は二四回生（一九八〇年卒）。一回目となった恒例の「先生の教え子による講演会」は、椎橋建夫君の司会で、講師は吉武信彦君（高崎経済大学地域政策学部教授）で、「転換期の北欧諸国——大國の



内山正熊研究会OB・OG会

不動産鑑定士三田会 十月二十五日午後六時十五分より、銀座・交詢社にて開催。第三六回総会、懇親会を開催。

例年どおり慶應義塾、法曹三田会などの他の専門職三田会、不動産鑑定士稲門会など、他団体を招待し開催。招待客を入れて五〇人超の参加者を得た。大阪、栃木、群馬、北海道など地方からの会員参加も見られ、盛況な総会・懇親会となった。

総会は、岩指良和幹事（会計責任者）の議長司会により始まり、緒方瑞穂会長挨拶後、会計決算、役員の出選を満場一致で

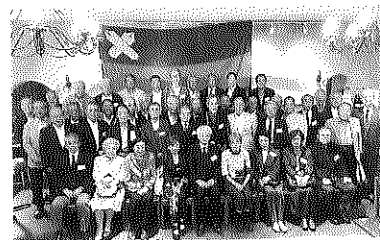
狭間を生き抜く小國のゆくえ」と題して行われた。

懇親会は場所を生協食堂に移して開催。司会は白木正治君が務め、開会の挨拶は関口雅志君、乾杯の音頭は飯田敏枝君で開宴。会員の年齢を考慮し、着座式のビュッフェにしたが、各テーブルでは和やかに懇談が進められた。

終盤、秋山成徳君が日本プロスポーツ協会と総理大臣杯について、矢野孝義君が内山先生の思い出を語り、最後に、「若き血」の音頭は、例年通り門叶国泰君。米寿になっても、力強いリードは健在。締め挨拶は、常任幹事の田中俊郎君（本塾大学名誉教授）。会員の健勝と次年度の再会を願い、散会した。

昭和四十二年体育会同期会 十月十九日、「銀座イルポネンテイノ」にて開催。

昨年度中に全員傘寿を迎える為、当会の打止めを事務方で検査



昭和42年体育会同期会

討したが、継統の要請が強く、本年度も開催の運びとなった。

ハンドボール部西川君の司会により、まず物故者への黙禱を行い、続いてサッカー部犬塚君の発声により乾杯を行った。

その後会食に移り、暫くの後、お店より寄贈された九つの賞品の争奪戦の為の「ジャンケン大会」を行い、場は多めに盛り上がった。

最後に野球部椎野君の音頭により、「若き血」を斉唱の後、バレーボール部蔵口君より閉会

可決し終了した。

続いて、金子郁子幹事の司会によって懇親会が始まり、新たに会長に就任した池田守会長の挨拶、慶應義塾大友正敏塾員センター部長の塾近況報告、三田法曹会奥国範幹事長の挨拶のあと、税理士三田会鈴木雅博会長の乾杯を経て懇親へ移った。

懇親会では新幹事の紹介、新入会員の紹介、不動産鑑定士稲門会からの挨拶も得た後、「若き血」を斉唱した。

当日の参加者は次のとおり。阿部隆志、池田守、石井恒男、石井里江子、石川直美、稲野遼俊、岩指良和、遠藤和人

遠藤貞司、緒方瑞穂、岡村淑子、沖達也、小澤孝明、尾藤哲、小畑宏之、金子郁子、桑原隆一、小坂一史、嶋田謙吉、島田雅子、新橋信仁、杉浦綾子、田代務、田中宏一、田中秀夫、田村直之、土井結香、流田有啓、伴野琢也、平井聡一郎、船木久義、堀内智、堀口学郎、松田純士郎、村田良一、山元慶彦、吉田稔。

加者が多い場合は、名前を割愛させていたたくことがありますが、会のご連絡先の記載についてはご遠慮下さい。

◆ゲストの講演内容等詳細に記した原稿、特定の個人のみを写した写真はご遠慮下さい。

これらに合わない場合は掲載

できないことがあります。なお、編集、掲載月についてはお任せ下さい。原稿、写真は原則として返却いたしません。

送付先：〒一〇八―八三四六 東京都港区三田二―一九―三〇 慶應義塾「三田評論」編集部
m-hyoron@adst.keio.ac.jp